



# 十中だより

令和3年10月1日  
文責 奈加晃典

## めざす生徒像

- ☆自ら進んで学び、考えて行動できる生徒(確かな学力)
- ☆勤労と責任を重んじ、礼儀正しく協力できる生徒(豊かな人間性)
- ☆自他の生命を尊重し、心身を鍛える生徒(健やかな体)

## 校訓

自主 協働 剛健

## 緊急事態宣言解除

9月30日をもって、近隣府県に出されていた緊急事態宣言や蔓延防止重点措置が全て解除になりました。第5波として大変な数の感染者が出ていましたが、東京や大阪もかなり感染者数が抑えられてきたこともあり、解除となりました。それに伴い県立高校も対面授業を再開し、県の新型コロナ感染症ガイドラインも変更となり、部活動も再開できるようになります。しかしながら、感染がなくなったわけではないので、引き続き対策はしながらに、できることをやっていくこととなります。

これから、寒くなってくると換気についてもしにくくなっていきます。最新のガイドラインでは、常時換気が望ましいが、無理な場合は25分に一度、5分間程度の空気の入れ換えをすることとなっています。冬になってくると、通常の風邪症状や、インフルエンザ等が流行すると同様に、新型コロナウイルスによる感染症も、第6波が来ることも懸念されます。これからの季節、より一層体調管理には気を付けて生活したいものです。

9日(土)には本校の体育大会を開催する予定ですが、今年度もご家庭からの参加者については、各家庭2名とさせていただきます。緊急事態宣言は解除となりましたが、小学校2校との兼ね合いもあり、当初の予定通りとさせていただきます。小さなお子様がいらっしゃるご家庭につきましては、入れ替わりで来ていただく等のご不便をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

### 防災出前授業

9月29日に十津川高校生が本校に来てくれ、防災についての出前授業をしてくださいました。「ふるさと共生コース」で勉強する生徒たちが防災について学習したことを、紀伊半島大水害から10年という節目を迎えたこともあり、中学生にも色々なことを知ってもらおうと企画してくれ



ました。中学生の年齢では、10年前の大水害のことは記憶に定かではない生徒が多いですし、今後30年以内に南海トラフ地震が起こる可能性が非常に高いと言われてからもかなりの年月が経ちます。もし、この十津川で大きな災害が起こり、甚大な被害に見舞われた時、自分たちには何ができるのかを考え、実際にやってみておくということは大変大事なことです。高齢化が益々進む世の中において、中高生の世代が「救われる側から、救う側へ」という考えを持って、いざというときに行動できるよう日頃から備えておくことは、とても大事なことでと思います。

## 全国学力・学習状況調査より

今年度の全国学力・学習状況調査の中から、少し気になる点がありますので、ご家庭でも話し合う機会を持っていただければと思います。学力の点については集団の母数が少ないため、少数の生徒の点数が平均点に及ばず部分が大きく、一概には県や全国と比較はできませんが、傾向として言えることは、記述式の問題の正答率は低い傾向があります。具体的には「目的に応じた意味を読み取り、事柄が成り立つ理由を説明する」や「問題の場面において、考察の対象を明確に捉える」「話し合いの話題や方向を捉え、話す内容を考える」等の部分において低い傾向が見られました。生徒への質問紙においては、「携帯やスマホについて、家の約束が守れているか」との問いに、「きちんと守っている。」が少なく、「持っているが約束自体がない。」という回答も多かったです。「学校の授業以外に一日あたりどれくらい勉強するか」の問いに対しては、2時間以上、3時間以上の2項目を足しても9.1%であり、県全体の平均である53%を大きく下回るものでした。調査自体は3年生を対象に行ったものですが、1・2年生にも同じ傾向は見えると思います。立地条件的に進学塾等が少なく、半ば強制的に勉強に向かう時間が作りにくい影響が大きいとは思いますが、その分、家庭での学習時間をしっかりと確保していくことが大事だと思われます。小学校での発達段階では、基礎基本を着実に身につけるためには、学校での取組が占める割合は多く取るべきであると思いますが、中学生の発達段階においては、自分から自主的にやろうという気持ちをもって取り組んでもらいたいと思います。学校においても、学力調査の結果を踏まえ、取り組んでまいります。ご家庭におかれましてもよろしくお願いいたします。



